

**【戦 評】 7/19試合番号 1
樋脇ホッケークラブ VS 山形クラブ**

山形クラブのセンターパスにより試合が開始される。試合開始から山形クラブが試合を優位に進めるも、

樋脇ホッケークラブも堅い守りで得点を許さない。前半20分頃から樋脇ホッケークラブが攻めに転じる。

前半30分樋脇ホッケークラブ5番永山がサークル内にドリブルで持ち込み、18番瀬戸山にパス、それを

18番瀬戸山が押し込み先制点を決める。しかし、山形クラブは前半33分左サイドからの縦パスから、

13番竹田が持ち込み、リバースシュートで同点に追いつき、前半を1対1で終了。

後半に入り、樋脇ホッケークラブが攻め続け、後半10分にP Sのチャンスを得る。しかし、G K鈴木

のファインセーブにより、得点にならず。3分後再びP Sのチャンスを得た樋脇ホッケークラブ。14番松元が

きっちりと決め2対1と樋脇ホッケークラブがリード。後半15分5番原口・21分には9番上向井が得点を決め、

4対1とリードを広げる。27分にはP Cから13番立野がフリックシュートを決め大きく突き放す。

そのまま、5対1で樋脇ホッケークラブが勝利をおさめる。
